

令和3年3月24日（水）

修了式あいさつ

東原摩舎中央校 下村昌弘

- 全校の皆さん、おはようございます。学校長の下村昌弘です。
- 今日は令和2年度の修了式です。そこで一年間を振り返って話をしたいと思います。少しの時間ですのでしっかり聞いてください。
- さて、この一年間を振り返る時、「コロナ」ということを抜きにして語ることはできません。休校に始まり、いろいろな学校行事が延期になったり、短くなったりしました。
- 「校歌」もそうです。このコロナのせいで、今年一年間、ほとんど校歌を歌うことがありませんでした。しかし、先日の卒業式ではじめて私は校歌をナマで聴き、その歌詞とメロディーにとても感動しました。
- 感動ついでに言うと、体育大会で1年生から9年生までがグラウンドにはじめて一堂に会した光景を目の当たりにしたとき、大変感動しましたが、またこの校歌の美しさにも感動し、この学校に来てよかったなと思いました。
- そこで、今日は、その校歌の三番を見てみましょう。

はるけきみ空 永劫にえいごう （永遠にはるかかなたまで続く美しい空よ）
変わらぬ星の さすところ（常に星が変わらぬ輝きを投げかけてくれている）
北天山の 峰高く （北に天山の峰が高くそびえ）
理想の旗を かざしつつ （自分の理想を高く掲げ）
心と身体を磨くもの （心と身体を鍛える者たちよ）
ああ希望あれ 東原摩舎 われら中央校
（ああ希望を高くもとうではないか東原摩舎で学ぶわれら中央校の若人よ）
- 1学期の始業式で、皆さんには「目標」をもとうということを話しました。覚えていますか。ウサギとかめの話。
- 低学年の皆さんには「ウサギとかめがもう一回競争したらどうなるか」を考えてもらいました。中学年の皆さんには「なぜかめはウサギを起こさなかったのか」を考えてもらいました。そして、高学年の皆さんには『論語』から「北辰」（北極

星) の話をしました。いずれも「目標をもとう」という話です。

- それを思い出しながらこの校歌を今一度見てみてください。ここには「空」「星」「天山」を示しながら、「理想の旗をかざし」「希望(のぞみ)あれ」と高く目標を持つことが歌われています。そして心と身体を鍛えよと。
- いい歌詞ですね。私も早く上手に校歌が歌えるようになりたいと思います。
- 今年度は休校に始まり、いろいろな活動が延期、自粛、制約、中止となりました。来年度もこの状況は急激によくなるとは思えません。引き続き我慢の日々が続きそうです。
- それでも希望を失わずに、心身を鍛えてほしいと思います。
- 春休みはこの校歌に恥じない中央校生としての誇りをもって、英気を養い、節度をもって生活し、新学期に備えてください。
- そしてまた元気に、4月6日に再会しましょう。